

第44回全国育樹祭（R3秋）の概要

● 全国育樹祭

全国育樹祭は、皇族殿下の御臨席を仰ぎ、過去の全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木のお手入れや記念式典行事などを通じ、継続して森を守り育てていくことの大切さを伝える国民的な緑化行事で、昭和52年以来、都道府県持ち回りで毎年秋期に開催。

● 第44回全国育樹祭の本道開催

※令和2年6月26日、新型コロナウイルス感染症に鑑み、開催を2020年から2021年に1年延期しました。
 ※2021年開催に向けては、多くの方々に安心して参加いただけるよう感染症対策の基本対処方針や各種ガイドライン等に基づく対応も検討し、「新しいスタイルでの全国育樹祭」を目指します。

本道では、昭和62年以来、34年ぶり2度目。苫小牧市と札幌市を会場に開催。

[開催方針]

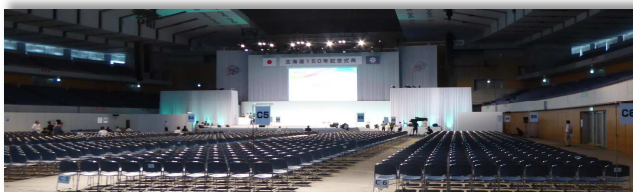
- ① 森や木に触れ親しむことを通じて豊かな心を育む北海道発祥の「木育」の取組を一層推進する。
- ② 本道自慢の食や観光をはじめ、道産材の良さ、豊かな自然や文化など、北海道の魅力やすばらしさをおもてなしの心で、全国から参加される皆様に伝えていく。
- ③ 開催後も全道各地で育樹活動等が継続され、取組の輪が全国へと広がる契機とする。

1) 式典行事計画

開催日：令和3年（2021年）秋期 ※開催日は調整中

会場：北海道立総合体育センター（通称「北海きたえーる」）～ 札幌市

参加者：約5,000人（予定）



式典会場のイメージ



おもてなし広場
 (先催県：H30 東京都)



配布弁当イメージ
 (先催県：H30 東京都)

[会場の整備]

- ・ステージやバックパネル等に道産材を積極的に活用

[おもてなし広場]

- ・木育コーナー、農水産物などを堪能できる飲食コーナー、北海道観光等のPRコーナー など

2) お手入れ行事計画

開催日：令和3年（2021年）秋期 ※開催日は調整中

会場：第58回全国植樹祭(H19)開催地
 (通称「苫東・和みの森」)～ 苫小牧市

参加者：約200人（予定）

[内容]

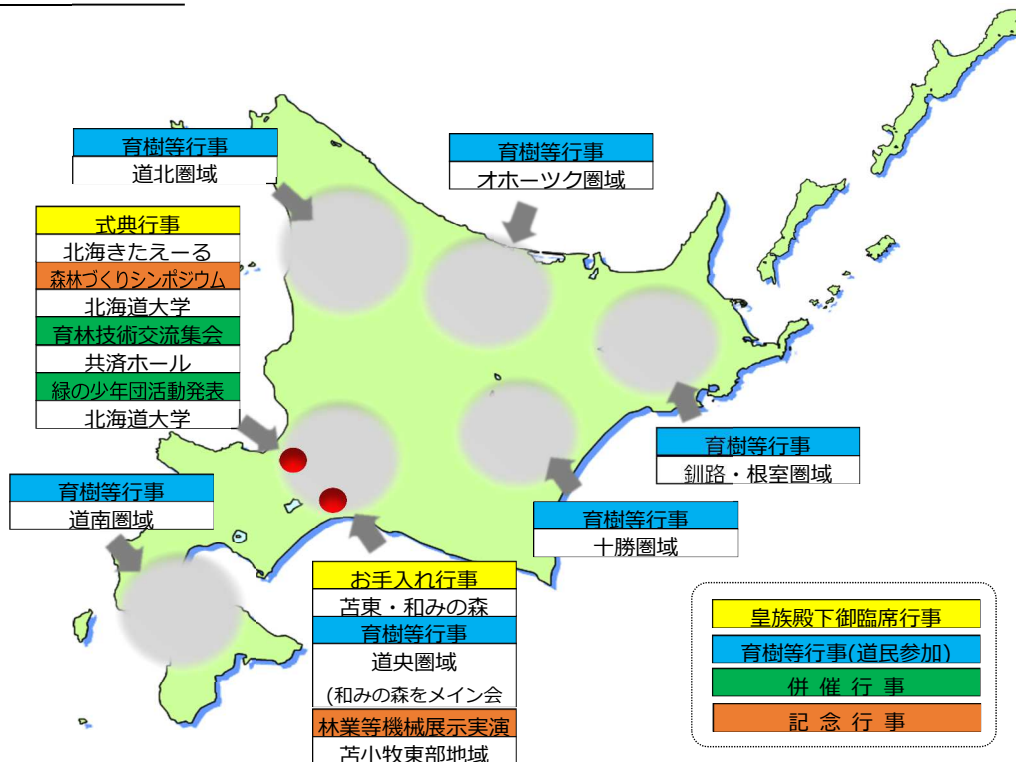
- ・皇族殿下による樹木のお手入れ（枝打ち・施肥等）
- ・参加者による育樹活動（施肥等）



お手入れ(枝打ち)(先催県：H30 東京都)

3) 育樹等行事、併催・記念行事計画

より多くの方々と育樹の大切さへの思いを共有し、道民との協働による森林づくりを一層進められるよう、广大で多様な森林を有し、「木育」の発祥の地でもある北海道の様々な特色を活かしながら、全道6つの圏域で道民参加の「育樹等行事」を実施するほか、下記の地域で「併催行事」、「記念行事」を実施します。



【行事日程のイメージ】

令和元年(2019) ～2年(2020)	令和3年(2021)		
	前日	当日	翌日
<p>国民参加の森林づくりシンポジウム (R元.10.12)</p> <p>育樹等行事 (R元秋～R3秋)</p>	<p>お手入れ行事</p> <p>レセプション</p> <p>育林技術交流集会</p> <p>全国緑の少年団活動発表大会</p>	<p>式典行事</p> <p>森林・林業・環境機械展示実演会</p>	

4) 運営計画、広報・協賛計画 ～ 詳細(略)

【協賛】

第44回全国育樹祭の開催方針に賛同する企業や団体・個人を対象に、実行委員会等に対する物品、役務及び金銭の提供、広報・PRへの協力等の協賛を募集します。

第44回全国育樹祭「協賛募集」の概要

1 趣 旨

実行委員会は、全国から参加される方々の「おもてなし」や「お出迎え」、北海道が持ち合わせた「魅力の発信」、大会を契機に広がり期待される「森を守り育てる活動の支援」等に役立てるため、(公社)北海道森と緑の会と連携し、企業や団体、個人を対象に協賛募集の取組を進めています。

第44回全国育樹祭協賛のお願い

全国育樹祭は、皇族殿下のご臨席を仰ぎ、過去の全国植樹祭において天皇・皇后両陛下がお手植えされた樹木のお手入れ行事や記念式典行事などを通じ、継続して森を守り育てていくことの大切さを伝える国民的な緑化行事です。

2021年秋に北海道で開催する「第44回全国育樹祭」は、本道では昭和62年以来34年ぶり2度目の大会となりますが、「つなごう未来へ この木 この森 この緑」をテーマに、お手入れ行事を平成19年に第58回全国植樹祭を開催した苫小牧市静川地区（通称「苫東・和みの森」）で、記念式典行事を札幌市の北海道立総合体育センター（通称「北海きたえーる」）において行うこととしております。

この大会を契機に、森林や木に触れ親しむことを通じて豊かな心を育む北海道発祥の「木育」の取組を一層推進し、道民運動として定着させていくとともに、本道自慢の食や観光をはじめ、道産材の良さや価値、豊かな自然や景観、歴史・文化など、北海道の魅力やすばらしさをおもてなしの心で全国から参加される皆様にお伝えしたいと考えております。

北海道が一丸となってより実り多きものとするため、どうぞ皆様のお力添えとご協力をお願い申し上げます。

第44回全国育樹祭北海道実行委員会

会長（北海道知事） 鈴木 直 道

2 仕組み

(1) 受付期間

令和3年（2021年）8月31日まで受け付けます。

(2) 協賛方法

- ① 金銭提供・・・実行委員会口座への振込（1口1万円）
- ② 物品提供・・・資材（木材等）や飲食物の提供
- ③ 広報協力・・・育樹祭行事の広報及びPR活動への協力
- ④ 役務提供・・・育樹祭行事の会場整備や開催支援

(3) 税制上の措置

協賛金等については税務上優遇措置がありますが、取扱の詳細は税務署又は税理士等にご確認ください。

3 協賛金の使途

おもてなし・お出迎えに要する経費

○ 記念品

北海道の旬な情報のほか、木の優しさや温もりが伝わる木製品を式典の参加者（約5,000人）に記念品として配布します。



(先催県：複数県)



(先催県：H25埼玉県 [全国育樹祭])

○ 昼食（お弁当）

北海道の恵みを存分に味わっていただけるよう道産食材をふんだんに使った昼食（お弁当）を式典の参加者に提供します。



(先催県：H30福島県 [全国植樹祭])



○ ブースの設置

北海道で生まれた「木育」の歩みを紹介するとともに、木製の遊具や木工体験など「木育を体感」できるブースや北海道の観光や特産品などをPRするブースを設置します。



(H29.2：釧路イベント)



(H30.8：150年事業)

○ ウェルカムボードの製作

式典会場には、北海道らしさを取り入れ、道産木材を活用したウェルカムボードの製作し、来場者を歓迎します。



(先催県：H30東京都 [全国育樹祭])



(先催県：H30福島県 [全国植樹祭])

○ 飾り花（木製プランターカバー）の設置

歓迎の意を込めて式典やお手入れ会場のほか沿道に飾花としてプランターを設置します。プランターには道産材のカラマツやトドマツの木製カバーを掛けます。



(先催県：H30東京都 [全国育樹祭])



北海道の魅力の発信に要する経費

本道自慢の食や観光をはじめ、道産材の良さや価値、豊かな自然や景観、歴史・文化など、北海道の魅力やすばらしさをおもてなしの心で、全国からの参加者に伝えていきます。



(H30.8：150年事業)

4 協賛特典

協賛金額に応じて、記録誌等への企業名掲載や、式典への参加など、協賛特典を用意。

特典の内容	100万円以上	50万円以上	10万円以上
(1)式典プログラム、協賛者ボード、記録誌への掲載	大	中	小
(2)式典当日付け新聞の特集紙面への協賛広告の掲載	大	中	小
(3)大会ホームページへの協賛者名掲載と協賛者ホームページへのリンク	○	○	○
(4)ロゴマーク、シンボルマーク等の利用	○	○	○
(5)式典への参加者枠の優先確保	特別席	一般席	一般席
(6)式典前日に開催する懇談会(レブション)への参加者枠の優先確保	○	—	—
(7)おもてなし広場でのブース出展枠(希望者)の優先確保	○	—	—
(8)実行委員長(知事)から感謝状の授与	○	—	—
(9)協賛金額に応じて記念品の授与(個人は1万円以上)	○	○	○
(10)記録誌の提供	○	○	○

※ 協賛物品や役務の提供等の場合も換算して上記と同様の取扱を行う。

※ 協賛金額が1万円以上10万円未満の場合は、(3)及び(4)のほか記録誌へ掲載いたします。

【留意事項】

- 特典一覧の(1)~(3)の掲載順位は、協賛金額の高い順とし、同額の場合には、申込順とします。
なお、金額と申込が共に同じ場合は、五十音順に掲載します。
- 特典一覧の(1)~(3)の掲載は、協賛金額の区分ごとに、文字の大きさを変更します。
- 特典一覧の(5)~(7)は、協賛金額の高い企業・団体等を優先します。
- 特典を希望しない場合には、その旨を実行委員会へお申し出ください。
- 特典一覧(1)~(4)の広告宣伝の実施期間については、以下のとおりとします。
 - (1) (記念誌) : 令和4 (2022) 年2月頃発行予定
 - (1) (式典プログラム、協賛者ボード) 及び(2) : 式典開催日
 - (3)及び(4) : (協賛金等の提供以降) ~令和4 (2022) 年2月

特典イメージ ※ 金額に応じた特典の内容は、下記の凡例(金額別記号)でご確認ください。

【凡例】

100万円以上：★

50万円以上：●

10万円以上：▲

1万円以上：■

(1) 式典プログラム、協賛者ボード、記録誌への掲載 [★●▲]



先催県 (H30東京都)

(2) 式典当日付け新聞の特集紙面への協賛広告の掲載 [★●▲]



先催県 (H30東京都)

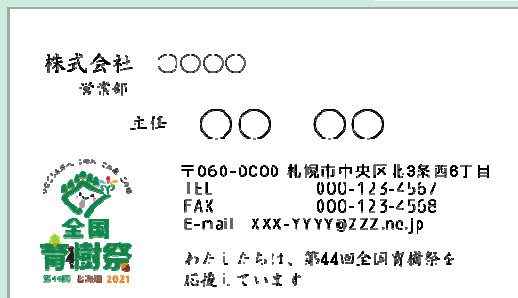
(3) 大会HPへの協賛者名掲載と
協賛者HPへのリンク [★●▲■]



北海道150年
記念HP

(4) ロゴマーク、シンボルマーク等の利用 [★●▲■]

名刺使用例



(5) 式典への参加者枠の優先席確保 [★●▲]



北海道150年記念式典 (北海きたえーる)

(6) 式典前日に開催する懇談会(レピ°ション)
への参加者枠の優先確保 [★]



先催県 (H30東京都)

(7) おもてなし広場でのブース出展枠
(希望者)の優先確保 [★]



先催県 (H30東京都)

(9) 協賛金額に応じて記念品授与 [★●▲■]



1万円以上 (個人のみ)
木製キーホルダー (実物大)

(10) 記録誌の提供 [★●▲]



先催県 (H30東京都)



10万円以上
木製シート3枚 (A5)
スタンド (幅200×高さ260×厚さ7mm)

～ 協働による「木育活動」のご提案もさせていただきます ～

企業・団体等のCSR活動等への支援

企業・団体等のCSR活動等をサポートいたします。

- 道が実施している事業を紹介
 - ・「ほっかいどう企業の森林づくり」
企業・団体等のCSR活動等による森林整備のサポートを行うため、企業との協働による森林整備を希望する森林所有者とのマッチングを行っています。
 - ・「道民の森・神居尻地区「水源の森」の復元」
道民の森・神居尻地区に広がる牧野跡地において、企業・団体等との協働により水源林を復元するプロジェクトを実施しています。
- 道内で活躍している「木育マイスター」とのマッチングのほか、企業・団体等の意向をお聞きし、サポート



■ お問い合わせ先 ■

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 道庁10階

北海道水産林務部森林環境局全国育樹祭推進室
(第44回全国育樹祭北海道実行委員会事務局)

TEL: 011-206-6563 FAX: 011-232-1296

E-mail: suirin.ikujoyusai@pref.hokkaido.lg.jp

